



4月7日 村内小中学校で入学式 新1年生が希望を胸に新たな一歩

村内小中学校の入学式が行われました。今年も感染症対策をとり、在校生などの出席者の制限と式典時のマスク着用での開催となりました。

昭和中学校では、新入生63人が会場の体育館に入場。新入生を代表し、高橋宗佑君が登壇し「中学校では部活動が楽しみです。やりがいを感じ仲間とのきずなも深まると思います」と期待を寄せていました。

また、各小学校でも合わせて54人の新入生が入学しました。東小学校では、新入生が緊張した表情で式に臨み、新たな学校生活をスタートさせました。



誓いのことばを述べる高橋宗佑君(昭和中学校)



緊張の面持ちで式に臨み(左)、式を終え退場(右、東小学校)



新入生呼名(左)、真新しい制服で入場(右、昭和中学校)



4月24日 群馬県高等学校春季ソフトボール大会 村出身者が活躍し高崎商が県制覇

矢嶋桜子さん(森下中)、若桑美空さん(鎌沢)、加藤舞さん、見城美月さん、見城美咲さん(以上、宿)、吉野愛叶さん(三ツ谷)、綿貫花音さん(鎌沢)が活躍する高崎商業高校が、群馬県高等学校春季ソフトボール大会で見事優勝を飾りました。また、各都道府県代表の32チームが出場した東日本高等学校女子ソフトボール大会でも3位入賞を果たしています。主将の矢嶋桜子さんは「大会を勝ち抜きチームが成長しています。高校総体に向け気を引き締めたい」と話していました。



高崎商の快進撃を支える村出身の生徒たち



3月13日 群馬県野球連盟・県大会優勝表彰 昭和イーグルスが受賞

群馬県野球連盟利根沼田支部の定期総会が沼田市で開かれ、その席上で、昭和イーグルス(堤輝人監督)に令和3年度の県大会優勝表彰が贈られました。

昭和イーグルスは、令和3年度の全日本学童野球群馬県予選で見事初優勝を飾り、全国大会でもベスト16に入るなど健闘しました。

チームで主将を務めた高橋雄大君は「チームが一丸となって戦うことができました。サポートしてくれた方々に感謝しています」と話していました。



県大会優勝表彰を贈られた昭和イーグルスナイン



4月10日 消防団が春の教養訓練 安心・安全を守るため消防団員が訓練



一斉に放水したポンプ操法訓練

村消防団(小野誠団長)による春の教養訓練が総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

小春日和の中で行われた訓練には、感染症対策のためマスクを着用した団員およそ150人が参加。利根沼田広域中央消防署員の指導を受け、機械器具の点検やポンプ操法訓練が行われたほか、新入団員に対し敬礼や行進といった基本動作の指導も行われました。

なお、訓練に先立ち、昨年度に管轄地域での無火災を達成した第1・3・4・5・7・9・10分団に対し、堤村長から表彰状が贈られました。



無火災分団表彰(第1分団が代表受領)



小野誠団長



指導を受け部隊訓練を披露する新入団員



4月21日 地元企業による地域貢献 石坂建設が検温器を村に寄贈

石坂建設株式会社の諸田光二社長が役場を訪れ、迅速な体温測定を実現する検温器を寄贈しました。

役場入口に設置したこのセコム社製の検温器は、計測した人の顔の表面温度を正確に表示するとともに、マスクを着けていない場合は着用を呼びかける機能があるため、感染症の拡大防止につながられます。諸田社長は「いまだコロナ禍が収束しない中、来庁される村民の皆さんの体温をスムーズに正しく計測できるので、ぜひ活用してもらえれば」と話していました。



検温器を寄贈された諸田社長



4月18日 昭和村ボランティア協議会 地域貢献で清掃活動

昭和村ボランティア協議会(関上光子会長)が、村内で清掃活動を行いました。この清掃活動は、会が地域貢献として毎年行っているもの。昭和インター線の沿道と、社会福祉協議会周辺の清掃活動を会員が手分けで行っています。

関上会長は「コロナ禍により制限はあるものの、会員の皆さんの協力のおかげでさまざまな活動ができています。今後は仲間をもっと増やすことができれば」と話していました。



昭和インター線で清掃活動を行う会員の皆さん

4月7日 道の駅「あぐりーむ昭和」 ムラノナカ珈琲が先行オープン

農園星ノ環(星野高草代表)は、道の駅「あぐりーむ昭和」にテイクアウト店「ムラノナカ珈琲」を先行オープンしました。この店舗は、旬の地元産フルーツを使ったスイーツや高崎市の「トンビコーヒー」の焙煎豆で入れたコーヒーを提供しています。

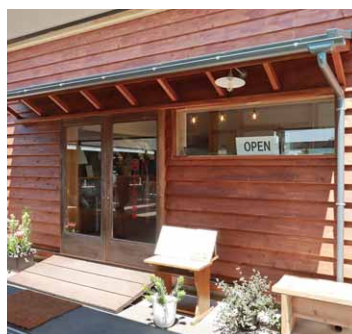
5月下旬には料理を提供する「ムラノナカ食堂」も開店予定で、地元の人たちが気軽に立ち寄れるお店を目指します。店長の竹吉喜徳さん(大河原)は「地元産の旬の食材を使ったおいしい料理を提供し、地元の人に喜んでもらえる店を目指したい」と話していました。



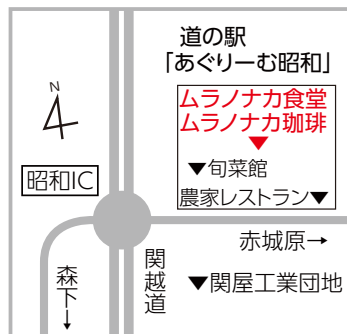
農園星ノ環の星野代表(中央)夫妻と竹吉店長(右)



コーヒーや旬のいちごなどを使ったスイーツを提供



木を基調とした店舗外観



4月1日 災害時などでのドローン活用協力 加藤エンジニアと協定締結

村は、村内事業者の株式会社加藤エンジニア(加藤将之代表)と、災害時における無人航空機による活動協力に関する協定を締結しました。

この協定は、災害などが発生した際に、無人航空機(ドローン)を活用し被災状況などの情報収集を迅速に行うことを目的としたもの。林野火災での消火必要場所の確認や行方不明者の捜索など、幅広い活躍が期待されます。加藤代表は「弊社の技術で少しでも地元のために貢献できれば」と話していました。



協定を締結した加藤代表と堤村長

4月17日 永井箱根神社 伝統の太々神楽を奉納

永井太々神楽保存会(藤井洋一会長)による、永井箱根神社の太々神楽が永井箱根神社で行われました。この神事は、神の心を鎮める鎮魂と五穀豊穡などを願って奉納される春の祭礼。面や兜、衣装に身を包み、笛や太鼓の音にあわせて「鉾廻し」や「うずめの舞」「岩戸の舞」など7つの演目が行われ、伝統を受け継ぐ見事な舞いが披露されました。

また、奉納の後には保存会の皆さんによる「もち投げ」が行われ、訪れた人たちに振る舞われました。



伝統の舞を披露(岩戸の舞)